

令和4年4月

自由民主党 板橋区議会議員

間中りんぺい

区政報告



板橋区及び板橋区議会として、「ロシア連邦によるウクライナ侵略に対する声明」を出しました。

日々報道される、ウクライナでの惨状には「この時代にこんな侵略が起きるのか」と驚かされます。もちろん、このような行為は、絶対に許されるべきではありません。

区として、また個人としても侵略行為を強い憤りをもって非難するとともに、ウクライナとウクライナの方々に対する支援策を進めてまいります。

間中りんぺい

個別のご相談がありましたらお気軽にご連絡下さい

080-3442-1520

rinpeimanaka@gmail.com

ウクライナ避難民ひなんみん ワンストップ相談窓口そうだんまどぐち

東京都つながり創生財団では、ウクライナから避難(注)してきた人たちのための窓口を開いています。東京で安心して生活できるように、必要な情報をお教えしたり、より詳しい相談先を案内します。

☎電話 03-6258-1227

(東京都多言語相談ナビ内)

月曜一金曜の午前10時から午後4時まで(祝日は休み)

- つかえることば
- ・やさしい日本語、英語、ロシア語、ウクライナ語など
※ウクライナ語は予約が必要です
 - ・中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ヒンディー語、ネパール語、フランス語、インドネシア語でも相談できます



一般財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

(注)…避難は「危険ところから安全なところへ行くこと」を指します

ロシア連邦によるウクライナ侵略に対する声明

板橋区は、昭和60年1月に板橋区平和都市宣言を行い、核兵器の廃絶を全世界に訴え、平和都市となることを宣言しています。

今般、ロシア軍がウクライナを侵略し、一般市民を含む多数の犠牲者を出していることは、世界の秩序と安全を脅かし、恒久平和を願う人々の思いを踏みにじる暴挙であります。

加えて、核兵器の使用さえも示唆したことは、広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返さないことを誓った板橋区平和都市宣言の精神からも、断じて許すことはできません。

板橋区は、ロシアによるウクライナ侵略を強い憤りをもって非難するとともに、一刻も早い軍の撤退と、事態の平和的な解決を図るよう強く求めます。

また、日本政府においては、ウクライナの平和を一日も早く取り戻すため、国際社会との緊密な連携を行うことを求めるとともに、板橋区も率先して、できる限りのウクライナ支援に取り組んでまいります。

令和4年3月18日
板橋区・板橋区議会

ウクライナ語の通訳
翻訳ボランティアの
緊急募集

通訳・翻訳ボランティアを設置している財団では、ウクライナ後のボランティアを緊急で募集・確保して、通訳や翻訳の対応を進めます。

ボランティアへの登録の詳細、およびウクライナ語・ロシア語での窓口対応についての問い合わせは、
(公財)文化・国際交流財団事務局 (3579-3130) まで。

ウクライナ語・ロシア語
での窓口対応

区役所の各種窓口での手続きや相談について、通訳・翻訳ボランティアや、東京都つながり創生財団の「多言語相談ナビ」や「ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口」などを活用し対応します。

人道危機救援金の募集による支援



区役所および赤塚支所や区内18ヶ所の地域センターに募金箱を設置し、集まった救援金は日本赤十字社を通じて送金します。問い合わせは、総務部総務課総務係 (3579-2052) まで。

区営住宅における支援

ウクライナから避難されてきた方に対し、適宜相談に応じられるよう、準備を進めています。問い合わせは、都市整備部住宅政策課住宅運営係 (3579-2187) まで。

りんぺいコラム・ウクライナ危機に際して

日本の国会でのゼレンスキー大統領の演説を聞きながら考えたこと。もし、中国と台湾の間で武力衝突が起こったら、日本は国際社会から何らかの対応を迫られるでしょう。その時、私たちに何ができるのだろうか。

事務所の近くに日本語学校があります。以前は、窓の外から外国語がよく聞こえ、中国や台湾からの生徒さんも多くいらっしゃいました。しかし、コロナ禍の影響は甚大で、現在の生徒たちが3月卒業すると生徒数ゼロという状況も想定されたそうです。それも徐々に緩和方向へと向かい、職員さんから「やっと入国が許されて、少しずつ生徒が入ってきています」とお聞きしました。

台湾人を対象にした意識調査では、最も好きな国を日本と答える方の割合が過去最高の60%にのぼりました。そして「台湾が最も親しくすべき国は？」には、日本が1位とのこと。私自身も台湾が好きで、議員になる前にはよく行って、うれしいニュースでした。

大学時代に北京大学へ短期留学したことがあります。授業のない週末の、天津や平遥への気ままなひとり旅では、宿の子どもと一緒に朝食を楽しんだことも(右の写真はその時のものです)。そんななか、北京大学で仲良くなった

中国籍の学生から「日本人は中国人か台湾人かですいぶん態度を変えるよね」「好きだから日本に行ったけど、嫌なことがあって好きじゃなくなった」と言われたことがありました。今も鮮明な記憶として残っています。

日本語学校が再開して、地元に学びに来る外国籍の若者には、楽しい時間を過ごして日本と板橋区を好きになって欲しい。落ち着いたら、学校職員さんとともに民間レベルの地域の交流を促進していきたい。もちろん、それだけで平和が保たれるとは思いませんけれども。

ウクライナで起きていることは、けっして遠くのできごとではありません。

宿の子どもと食べる「じゃがいもの千切り炒め」
北京大学短期留学時のひとり旅



間中りんぺいプロフィール



- 昭和54年蓮根生まれ 42歳 家族：妻と子ふたり（4歳と1歳児子育て中）
- 2015年初当選 現在2期目
- 文教児童委員会委員・インクルージョン推進調査特別委員会委員長・議会運営委員会委員
- ミズベリングいたばし・いたばし対話プラス・いたばし画廊共同代表
- ひいらぎ保育園、志村第六小学校、志村第三中学校、板橋高等学校卒
- 5年間のサラリーマン勤務の後、スリランカ内戦地域で支援活動
- NZ留学を経て28歳で慶應義塾大学入学（卒業式学位記授与代表生）
- ボーイスカウト板橋第四団・隊長
- SVP TOKYO パートナー 子どもアドボケイト養成講座・修了
- 志村消防団二分団

ご意見、街のこと、住みたい街の未来像、お聞かせください
間中りんぺいは対話を大事にします

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-21-1-201
TEL 080-3442-1520 FAX 03-6886-8417
Email rinpeimanaka@gmail.com



Facebook



LINE



ホームページ



Instagram